

(社) 日本建築学会 近畿支部  
2013年度第1回空気環境部会議事録(案)

日時：2013年5月7日(火) 18:00~20:30

場所：キャンパスポート大阪 ルームF

出席者：東(実)、安福、甲谷、河野、小林、齋藤、檜崎、  
山中(主査)、桃井(幹事、記録)、萬羽(幹事、記録)

資料：・議事次第	資料 1-1
・平成25年度空気環境部会予算請求書(桃井幹事)	資料 1-2
・部会費決定通知(桃井幹事)	資料 1-3
・平成24年度報告および平成25年度活動計画(山中主査)	資料 1-4
・部会員名簿(桃井幹事)	資料 1-5
・建築物の換気基準に関する資料(SHASE-R-1005-2007)(桃井幹事)	資料 1-6
・建築物の換気基準に関する資料(AIJES-A006-2010)(桃井幹事)	資料 1-7
・建築物の換気基準に関する資料(AIJES-A006-2005)(桃井幹事)	資料 1-8
・建築物の換気基準に関する資料(ISO16814)(桃井幹事)	資料 1-9
・建築物の換気基準に関する資料(ASHRAE Technical FAQ)(山中主査)	資料 1-10

議事：

1. 前回部会の報告

- ・安福委員(前幹事)より、前回部会(平成24年度第4回)の内容が報告された。

2. 今年度の活動について

- ・山中主査より、安福委員(平成24年度幹事)から萬羽への幹事交代が報告された。

○平成25年度部会費について

- ・桃井幹事より、平成25年度空気環境部会予算請求の内容が報告された。[資料 1-2]
- ・桃井幹事より、平成25年度部会費が70,000円に決定したことが報告された。

[資料 1-3]

○今年度の活動計画

- ・山中主査より、平成24年度の活動内容の報告と平成25年度活動計画が提案された。
- ・講師を招いてISO規格に向けての換気・空気質基準の今後のあり方の討論を企画してもよい。講師は、吉野先生や早川先生がよい。

[資料 1-4]

○部会員名簿

- ・桃井幹事より、部会員名簿の内容について確認された。[資料 1-5]
- ・名簿に齋藤委員を追記すること、小林委員の所属先の変更(立命館大学→大阪市立大学)、檜崎委員の所属の追記(オフィス名)と住所の変更(大阪大学→オフィス)をすることが確認された。

○空気環境シンポジウムについて

- ・山中主査より、平成25年度末に第5回空気環境シンポジウムを開催することが提

案された。次回、主査・幹事で案を作る。

- ・ シンポジウムは3月（3月3日～7日頃）に開催すること、前半に日本（アジア）、アメリカ、ヨーロッパなどの建築物の換気基準について報告・比較を行い、後半に空気環境を取り巻く様々な課題（開放型燃焼器具（暖房）、CO<sub>2</sub>基準値、TVOC、可塑剤、リモネンとオゾンの二次生成物、PM2.5、家具からの放散物質、人体側への影響）や今後の基準のあり方についてワークショップ形式で話し合うことなどが決定した。
- ・ これまでシンポジウムのテーマにした家具、ホルム、アスベストは、その後はどうなったのか？
- ・ 開放型燃焼器具は、二酸化窒素の設計基準濃度で換気量を計算するとかなり大きくなって暖房にならない。日本では省エネのため多く使われるけれど、欧米ではあまり見ない。SHASE62-1では開放型も含めるというパブリックコメントが半年前に出していた。

### 3. 国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査報告

- ・ 桃井幹事より、SHASE-R-1005-2007についての説明がされた。 [資料 1-6]
- ・ 桃井幹事より、昨年度部会費で AIJES-A006-2010、AIJES-A006-2005、ISO16814を購入したことが報告された。 [資料 1-7、1-8、1-9]
- ・ ISO16814については空気環境シンポまでに、部会員で分担し和訳を進めること、分担内容については主査・幹事間で検討し後日報告することが確認された。
- ・ 山中主査より、ASHRAE Technical FAQ について報告された。 [資料 1-10]

### 4. 委員からの話題提供

- ・ 山中主査より、建築大会前日（8/29）に開催される空気シンポ「中国から飛来するPM2.5」の案内があった。

### 5. その他

- ・ 次回部会では、見学会と懇親会も併せて開催することが決定された。
- ・ 次回部会

日時：8月1日（木）午後

場所：グランフロント大阪（見学会）、キャンパスポート大阪（部会）

部会内容：国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査報告

以上